

三齋月 川村龍俊

ドオンと鳴った花火だ

(見—えません)

空いっぱいには拡がって

(風の吹くままどこまでも)

目に見えないよ

(放射能つ。ウツ)

痛くもないよ

(放射線つ。ウツ)

煮ても焼いても

(消えないの。ウツ)

いつまで待っても

(減らないの。ウツ)

思い出してご覧。何十年前も前、アメリカのネバダ州のテスト
探し出してご覧。何十年前も前、中国のウイグル地区のテスト
調べ出してご覧。十年前も前、ロシアの東の果ての海の廃棄

でもね、でもね、それでもね、寿命は延びたんだよ

だからね、わかるでしょう、男の子でしょう

問題ないからここに居て

原爆作れるこの国に

(右翼のおじさん言いました)

浴びても吸っても食べても飲んでも

このくらいなら平気なの？

(むしろ元気になっちゃうよ)

でもね、でもね、それでもね、病人は増えたんだよ
だからね、わかるでしょう、女の子でしょう
危険が危ないすぐ逃げて

マスクのいらぬ土地に

(左翼のおじさん言いました)

浴びたら吸ったら食べたら飲んだら

このくらいでも終わりなの？

(いつか病気になるっちゃうよ)

これって政治の話なの？

(それともお金の話なの？)

これって科学の話なの？

(それとも医学の話なの？)

わからないままぼくたちは減らしていこうどこまでも
なかったものが今あってずーっとあるのが嫌だから
太陽光も風力も地熱もそろばん合わぬとさ
原発のごみの面倒は誰がいつまでみるのやら